



2013~2014

KAWANOE WEEKLY

H. 25. 10. 8
No. 15

高橋省三氏繪

**ロータリーを 実践し みんなに豊かな人生を**2013-2014年度国際ロータリー会長
ロン D. パートン

- 会 長 星 川 和 紀
- 幹 事 毛 利 泰 治 郎
- 会報委員長 土 肥 義 紹
- 例 会 日 毎週火曜日
12:10~13:10
- 例 会 場 四国中央商工会議所
電 話 58-3530
F A X 58-6294
- 事 務 局 四国中央商工会議所
電 話 58-3530

『見つかった古い資料』

宮 内 哲 也

本棚を整理していると、古い資料に「サクセス・ストーリー」としてのっていました。

1890年4月12日は、小雨が降ったりやんだりする寒い日であった。今ここアメリカ合衆国中西部カンサス州の州都ウィチタから遠く離れたコロンバス村から、一人の少年が旅立とうとしていた。少年は今年10才になったばかりであった。貧しい開拓農民の長男として生まれ、2人の弟と3人の妹がいた。少年は貧しい家計を助けるため、小学校を終えないまま、遠く離れた州都ウィチタへ働きに出なければならなかった。少年はウィチタの小さな鉄工所の見習い職工として住み込みで働くことになっていたのである。コロンバスからウィチタまでは約200kmである。少年はこの道のりを徒歩で行かなければならないのである。

ウィチタへの道のりは少年の足で、歩いて7日の道のりである。母親は7日分の宿賃と、わずかの干肉しか少年に持たせることが出来ないことを悲しく思った。

みどりと自然を大切に

しかし今の貧しさの中で宿賃を持たせるだけでも大変なことであった。母親は今日のこの長男の旅立ちを悲しんではいたが、10才までに育てたこの我が子の簡単にくじけない性格を知っていたので、遠くの街でも立派に働いてくれるものと信じていた。

いよいよ出発の時が近づいてきた。母親のエリザベスはその時、ふと思い立って明日の食事のためにとっておいた、さつまいもがあることを思い出し、そのさつまいもをふかし始めた。

出発の時、母親はいままでこらえていた涙を目に浮べながら我が息子に「こんなものしか持たせてあげられなくてゴメンナサイ」と言いながら、ふかしたさつまいもを渡した。少年はこのさつまいもがこの貧しい家の二日分の食料であることを知っていたので、その半分だけを受けとり、それを胸にいだいて出発した。そしてその胸のぬくもりをこの少年は一生忘れなかったのである。

やがて、この少年は一介の見習職工を振り出しに30年後に、アメリカ最大の鉄鋼会社USスチールを創業することになるのである。少年の名前は、あのカーネギーホールで有名なアンドリュース・カーネギーである。カーネギーは後年自らの回想録の中でこの少年の時の旅立ちのことを克明に書いている。

30年の間には、何度もくじけそうになったことがあった。しかしその度に、あの朝母親がふかして持たせてくれた、さつまいものぬくもりを思い出し、それを母親のはげましの愛として受け止め、困難を乗り越えたのだと。この母親のやさしさを忘れず、心の糧と出来るカーネギーの感受性の豊かさこそ、経営者として大成したカーネギーの特質だったのである。後年カーネギーを偉大なる人格の人と評している。20年間カーネギーに師事し、成功哲学という書物を書いたナポレオンヒルは成功するための3つの要素ということを言っている。

第1は その仕事に関する知識と技術であり、これが25%

第2は 行動力であり、これも25%

そして、最後が感受性の豊かさであり、これが全体の50%を占めるのだと！

まさにアンドリュース・カーネギーは感受性の豊かな人であったのである。また、この偉大な成功者、アンドリュース・カーネギーはその回想録の中で成功を別な角度からとらえ、その要件として目標ということをあげている。幼くして故郷を出て、見知らぬ街で住み込みで働いていた自分の心の中に、いつの日か成功し、沢山のお金を手にし、母親のエリザベスを、そして家族のものを幸福にするのだという目標が、常に頭から離れなかったことを告白している。その目標を達成することは、まさに燃えたぎるような欲望であったと。そして、その欲望の中には、どんな困難にもめげないぞという決意が秘められていたことを。

ここには、貧困の中から身を起し、功成り名遂げる成功者の典型的なパターンが見ら

れる。目標を見失なわなかったからこそカーネギーは成功したのである。

カーネギーはまさに成功とは心構えの問題なのだという事を、そして明るく前向きの心構えを持ち続けた者のみ成功するのだと言っているのである。

ナポレオン・ヒルはカーネギーに師事すること 20 年、カーネギーの成功人生をつぶさに観察し、またその他の全米の成功者に直接インタビューし成功への 13 階段という本を著している。その本の中でナポレオン・ヒルは見事に、成功者の共通項を拾い出している。実日新書から出版されているこの本は内容も実に平易であり、一読すれば誰にでも成功ということが、知識や技術だけではなく心構えに大きく依存していることが一目瞭然である。

さて賢明な皆さんには成功とは何かがよくお分かりになったことと思う。かの有名なワシントンのアーリントン墓地に眠るカーネギーの墓碑銘には次の様に記されている。

「我よりも能力あるものを使い共に働けるわざを持てるものここに眠れり」まさにカーネギーの人となりを表わした名言であろう。

第2532回 例会記録 H. 25. 10. 1

職場訪問例会 (株) リブドゥコーポレーション新居浜工場へ

出席報告

1. 出席会員 (59名中) 34名
2. 出席免除 3名
3. 来訪ロータリアン (伊予三島RC)
今井浩志様
加地信彦様
大西励一様
松本浩一様
(観音寺RC)
横内文也様
4. 当日出席率 60. 71%
5. 前々回補足修正率 94. 74%
(メイクアップ会員)
鈴木謙会員
(9/13 伊予三島RC)
辻 本会員
(9/20 伊予三島RC)

近隣RCの例会日

- 10月10日(木) 観音寺RC
(観音寺商工会議所)
10月11日(金) 伊予三島RC
(三島商工会館)
10月15日(火) 観音寺東RC
(観音寺グランドホテル)

次週プログラム

- 10月15日(火)
休会
(地方祭のため)

10月22日(火)
(出席委員会担当)

職場訪問 (職業奉仕委員会担当)

- 10:10 川之江庁舎 駐車場 出発
11:00~ (株)リブドゥコーポレーション
新居浜工場 見学
12:00 見学終了
12:15頃~ 昼食
(リーガロイヤルホテル新居浜)
14:00 川之江庁舎 駐車場 帰着

(14:00~)

*第1回 IM実行委員会 開催

【出席者】 実行委員会役員・正副委員長